

ルワンダの学校を支援する会・公開講演会シリーズ NO.10

マリールイズ氏 講演会

“ルワンダ内戦と東日本大震災を体験して”

6月16日(土)

14:00~16:00

ひと・まち交流館京都

3F 第4会議室

(河原町五条下ル 50m 東側)

京阪清水五条駅下車 6分

バス停 河原町正面前

Tel 075-354-8711

参加費 一般 1000円

高校生以下・震災被災者無料



Kambenga MarieLouise

カンベンガー・マリールイズ

1965年ザイール(現コンゴ民主共和国)生まれ。祖国ルワンダの専門学校で教師をしていたとき、JICA(青年海外協力隊)と出会う。1993年、JICAカウンターパートナーとして福島文化学園にて研修。日本人は誰でも字が読み書きできることに感銘を受ける。1994年2月帰国。2ヶ月後ルワンダで内戦が勃発、命からがら難民キャンプにたどり着く。そこで偶然出会ったAMDA(アムダ)の日本人医師の通訳になり、医療活動に協力する。12月日本の友人たちの協力を得て再来日、以来福島に住む。

2000年「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、ルワンダのすべての子どもたちが教育を受けられるよう学校を建設する活動を始め。煉瓦を積むところから始めた学校「ウムチョムウイーザ学園」は、現在15教室の学校となり、小学生と幼稚園児合わせて200人余りが通っている。

昨年の東日本大震災で被災後も、居住する福島を拠点に、講演等で日本中を駆け回り、「命の尊さ」と「教育の大切さ」を訴え続けている。

・NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」理事長。・絵本「ルワンダに教育の種を：ルワンダの内戦を生きぬいた女性マリールイズの物語」(中地フキコ著、かもがわ出版)の主人公

主催 ルワンダの学校を支援する会

<http://osuke/jimdo.com>

☎ 090-8238-5727 服部

e-mail: osuke21@yahoo.co.jp